

自己決定権の視座必要

第29回 本紙読者と新聞委員会



比嘉徹氏 島袋純氏 比嘉梨香氏 吉元政矩氏

琉球新報社は18日、「読者と新聞委員会」(主宰・富田詢一社長)の第29回会合を那覇市中央の本社で開いた。委員は吉元政矩(元副知事)、比嘉梨香(元県教育委員)、カルティバイト社長、島袋純(琉球大学教授)、比嘉徹(レイメイコンピュータ社長)の4氏。4月28日の「主権回復の日」に関する報道や、山陰中央新報との合同企画で2013年度

連載「環りの海」

の新聞協賛を享受した連載「環りの海」などについて意見交換した。「主権回復の日」に関する報道では、研究者の声を取り上げた記事が少なく、客観的に問題を浮き彫りにする視座が不足していたとの指摘があった。「環りの海」については、生活者の視座がより取り入れられ、対話の重要性への理解が進む報道との声が上がった。(敬称略)

比嘉徹 領土問題を解決するべきではないかという形になれば、自己決定権獲得につながるのではないかと。米国の基本的外交関係は、日本との関係が軸になる。環りの海は、日本と世界の関係を軸に、環りに沿って世界を一周する。環りの海は、日本と世界の関係を軸に、環りに沿って世界を一周する。環りの海は、日本と世界の関係を軸に、環りに沿って世界を一周する。

外国地方紙との連携を 比嘉徹

比嘉徹 環りに沿って世界を一周する。環りの海は、日本と世界の関係を軸に、環りに沿って世界を一周する。環りの海は、日本と世界の関係を軸に、環りに沿って世界を一周する。

生活者視点で解決促せ 島袋

島袋 生活者視点で解決促せ。生活者視点で解決促せ。生活者視点で解決促せ。生活者視点で解決促せ。生活者視点で解決促せ。

電子版の活用も考えて 比嘉梨

比嘉梨 電子版の活用も考えて。電子版の活用も考えて。電子版の活用も考えて。電子版の活用も考えて。電子版の活用も考えて。

沖縄自立へ提言が役割 吉元

吉元 沖縄自立へ提言が役割。沖縄自立へ提言が役割。沖縄自立へ提言が役割。沖縄自立へ提言が役割。沖縄自立へ提言が役割。

「不平等」考える機会に 比嘉徹

比嘉徹 「不平等」考える機会に。不平等を考えた。不平等を考えた。不平等を考えた。不平等を考えた。不平等を考えた。

伝わる手法が問われる 比嘉梨

比嘉梨 伝わる手法が問われる。伝わる手法が問われる。伝わる手法が問われる。伝わる手法が問われる。伝わる手法が問われる。

政治史の位置付け不足 島袋

島袋 政治史の位置付け不足。政治史の位置付け不足。政治史の位置付け不足。政治史の位置付け不足。政治史の位置付け不足。

主権回復の日」 比嘉徹

比嘉徹 「主権回復の日」。主権回復の日。主権回復の日。主権回復の日。主権回復の日。

県民運動史盛り込んで 吉元

吉元 県民運動史盛り込んで。県民運動史盛り込んで。県民運動史盛り込んで。県民運動史盛り込んで。県民運動史盛り込んで。

その他

その他 琉球新報社が主催する「読者と新聞委員会」の第29回会合。委員は吉元政矩(元副知事)、比嘉梨香(元県教育委員)、カルティバイト社長、島袋純(琉球大学教授)、比嘉徹(レイメイコンピュータ社長)の4氏。

- 「読者と新聞委員会」第5期委員
 - 吉元政矩氏(元副知事)
 - 比嘉梨香氏(元県教育委員、カルティバイト社長)
 - 島袋純氏(琉球大学教授)
 - 比嘉徹氏(レイメイコンピュータ社長)
- 琉球新報社
 - 富田詢一 社長
 - 坂名城 取締役編集局長
 - 潮平芳和 論説委員長
- 名城知二朗 デジタル戦略室長
 - 普久原均 論説副委員長
 - 米須清光 編集局長
 - ニュース編成センター長
 - 松元剛 編集局長
 - 報道本部部長
 - 与那嶺明彦 政治部長
 - 松永勝利 社会部長
 - 外間聡 経済部長
 - 上原康司 文化部長
 - 大森茂夫 運動部長
 - 友寄隆哉 地方連絡部長
 - 与世田兼浩 写真映像部長